

「世界遺産学習全国サミット」を終えて(1)

10月24日(土)に、大牟田市教育委員会・世界遺産学習連絡協議会主催による「第6回世界遺産学習全国サミットinおおむた」が、ホテルニューガイアオーラムタガーデンで開催されました。市内・県内はもとより、全国から多くの方々に参加され、終日世界遺産について熱の入った研修が行われました。

みなと小児童による「大牟田弁もおもしろか」の元気な歌声で幕を開け、市役所文化財室の坂井義哉主査より「大牟田関連世界遺産」の紹介がありました。

開会行事終了後は、世界遺産学習について大牟田市の駿馬北小、島根県の大森小、奈良県の飛鳥小の児童が、自分たちの学習の足跡や成果を伝えてくれました。どの地域でも、自分たちの地域の世界遺産を誇りに思い、しっかりと学習できていることや、その学びを少ない人数でも堂々と発信できている頼もしさなどを感じることができました。

記念講演には、大牟田出身で現在ケンブリッジ大学のウォルフソンカレッジにいらっしゃる、北川智子先生をお招きし「世界遺産としての日本史 歴史を語る方法・目的・意義」の講演を行っていただきました。世界を舞台にご活躍されているだけあり、英語を交えてのグローバルな雰囲気での講演会になりました。講演会の中では、「人は生まれ育った環境が違うので、世界遺産に対しての心の距離やその捉え方が違うのは当たり前。」「次世代のために、個人的な外交を行っていくことが大切。」などの話を、まるで授業を行うかのように、参加型で伝えていただきました。世界遺産についてグローバルな視点からじっくり考える良いきっかけになったのではないかと思います。

次回の「ユネスコスクール便り No.34」では、午後から行われた分科会についてお伝えします。

研修のお知らせ

第7回ユネスコスクール全国大会が開催されます。興味のある先生方は是非ご参加ください。内容は下記の通りです。

【日時】平成27年12月5日(土) 開会9:45(受付9:15~) 閉会17:30

【会場】昭和女子大学(東京都世田谷区太子堂1-7-57)

【内容】(午前) 特別対談 気候変動ワークショップ参加校の紹介・課題共有
(午後) テーマ別交流研修会・報告 第6回ESD大賞表彰式

大牟田市立倉永小学校の実践

「倉永 ふるさと再発見」 出会い・学び・発信を通して

倉永小の5年生は、「倉永のよさは何か」という課題のもと、校区にある史跡(甘木山の古墳・法雲寺・諏訪神社・いぼ観音・龍山書院)を見学しました。子どもたちから「自分たちの校区にはこんなに誇れるものがあるんだ。」という感想があがりました。

その後、「自分たちがこの素晴らしい校区のためにできることは何か」という課題に発展しました。倉永校区社会福祉協議会の会長さんを招き、校区にはたくさんの一人暮らしのお年寄りの方がいることを知りました。そして、一人暮らしのお年寄りの方にできることはないか話し合い200枚のカレンダーを作りました。そして、地域の方と一緒に200人の方の家を訪問し、自分たちが作ったカレンダーを手渡し、相互の絆を深めました。



大牟田市立米生中学校の実践

「地域との「かかわり・つながり」を深める学習を通して

本校では、地域との「かかわり、つながり」を通して「自分達にできることは何か」を考え、「発信していく」ことを目指し、福祉学習と世界遺産学習を中心に取り組んでいます。その中の1年生の学習の取組の一部をご紹介します。

福祉学習においては、特別支援学校との交流を積極的に行っています。7月は「七夕交流」、11月には「わくわく交流」で一緒にゲームをします。世界遺産学習では「宮原坑」を世界に発信できるよう学習を始めました。そして宮城県気仙沼市立松岩中学校との交流も始めました。6月、気仙沼特別支援学校へ七夕飾りを、松岩中学校にはメッセージカードを送りました。7月6日松岩中学校から、お礼の七夕飾りが送られてきました。そこで、みんなで笹に飾り付けをして記念写真を撮り、お礼状と大牟田の宝「世界文化遺産 宮原坑」についての手作り紹介ポスターを送りました。

